

# 令和6年度 学校評価（自己評価） 報告

明德やちまたこども園

## I 本園の教育理念・目標・方針

### ○ 教育理念

千葉明德学園、建学の精神は「明德を天下に明らかにせんとする者は、先ず其の知を致せ」である。これは中国の古典「大学」からの出典である。

明德とは人が天から得た、生まれながらに持つ優れた能力、人間として生まれながらにして持っている人間性を言い、「明德を明らかにする」とはそれを輝かせることである。その為にはまず、幼児期には健康な身体とその年齢らしい心の育ち、そして他者との対話力、直接体験を通じた知識と知恵を身につけ、徳と知、善悪の判断が出来る人間性を育てていくことと考えている。

### ○ 教育目標

自他を尊重し、五感を働かせて自らの生活を切り拓いていこうとする子

### ○ 具体的な目標

- ・元気な子 (身体を使った遊びを楽しむ)
- ・思いやりのある子 (自分の思いを表現する)
- ・工夫する子 (友達と思いきり遊ぶ子)
- ・工夫する子 (約束を守って遊ぶ)
- ・工夫する子 (新しい事に挑戦する子)
- ・工夫する子 (遊びを楽しく工夫する子)

### ○ 教育方針・特色

- ・自然の中で、五感（見る、聴く、嗅ぐ、味わう、触れる）を働かせ、直接体験を通して友達とかがわって遊ぶ。
- ・物を作る楽しさや、工夫する面白さを感じながら活動に取り組む。
- ・様々な事に出会い、心を動かし豊かな感性を育み、自分の気持ちだけでなく相手の気持ちをくみ取ることが出来る。
- ・思いきり身体を動かす事を通して挑戦し、最後までやり遂げようとする気持ちを育む。

## 2 本年度のねらい

- ・一人ひとりがその子らしくその年齢らしく、人や環境とかかわりながら遊びや生活を創り上げていく
- ・一人ひとりの発達段階を理解し、発達や生活の連続性を意識して保育にあたる
- ・八街の豊かな農産物を生かした食育活動を行う

### 3 総合評価

No	評価項目	評価のまとめ
1	教育目標・保育目標	職員は概ね理解している。理解度は人によってさまざまなため、今後も具体的な子どもの姿と照らし合わせながら理解を深めていきたい。
2	教育過程・指導計画	全体的な計画・教育課程について園内研修を行ったことで、より意識して保育計画を立てるようになったと感じる。反省を活かし、次に繋げようとする意識も少しずつ高まっていると思われる。
3	保育の内容・対処法	90%を超える職員が、一人ひとりの子どもに寄り添った保育を意識して行っていた。必要に応じてケース会議をもつことで、より一人の子どもについて深く考えようとする意識が高まったように感じる。しかし、子どもに対しての配慮が十分でない場面もあったため、改めて保育者として望ましい姿勢とは何かを話し合っていきたい。 保育中の事故発生を意識した対応について看護師中心に研修を行ったり、近隣の消防署員を招いて救命救急の基礎を学んだりして、万が一に備えてきた。 ヒヤリハットは職員間で共有。記録し改めて振り返ることで命を預かっているという自覚と責任に繋がっているように感じる。
4	保育者としての資質、 保育の質の向上	それぞれの職員が、自己課題をもって保育や職務に取り組んでいる姿がある反面、気持ちや時間のゆとりのなさが、表面化することがあった。また、園内の整理整頓も、行き届いていないことが多くあった。それぞれの職員が自分事としてとらえ、主体性をもって取り組む姿勢を構築していきたい。
5	研修・研究	キャリアアップ研修や学園内の階層別研修への参加、理事長や短大講師による実践を通じた学びなど、学ぶ機会があることでそれを保育に活かそうとする姿勢がみられていた。また、保育をするにあたって知っておくべき事項について、園内研修で改めて根拠を学ぶことによって、日々の保育に意識して取り入れようとしていた。しかし、外部研修への参加に消極的な職員も見られていたため、次年度は積極的に参加できるようにしていきたい。
6	運営管理	職員は概ね自分の職務は遂行していたものの、それ以外は自分事として捉えられず、任せきりになることがあった。声を掛け合い、支え合えるような体制を強化していきたい。 施設設備の点検に関しては、用務中心に毎日行い、必要に応じて修理するなど対策をとってきた。衛生面については、行き届いていない面もあるため、今後の課題である。
7	保護者との連携、 地域との関わり	送迎時、コミュニケーションをとることで関係を築けるようになってきたが、伝達漏れや対応不足から、保護者の方を不安にさせてしまうことがあった。職員間の情報共有をよりしっかり行うと共に、信頼関係が構築できるような工夫をしていきたい。 また、大きな行事毎にアンケートを実施し、必要に応じて回答し

		<p>てきた。大半の方が好意的に見ていただいているが、様々なご意見を頂戴することもあるため、真摯に受け止めながら、改善する点とご理解頂く点など、一つひとつに丁寧に対応していきたい。地域との関わりは、園だけではできない経験を近隣の方や小学校、高校の方の協力により実現することができている。</p>
--	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 4 今後取り組むべき課題

NO	課題項目	課題のまとめ
1	保育者としての資質、保育の質の向上	組織をつくる一員としての自覚と、主体的かつ協調性をもった行動と学びの姿勢をしっかりともてるようにしていきたい。
2	研修・研究	一人ひとりに寄り添った保育を意識し、心がけてはいるが、個別の配慮を要する子どもの受け入れや、保護者支援、家族支援が増えている現状を踏まえ、研修機会を設け、対応を強化する必要があると思われる。